



〈家庭用〉ガス衣類乾燥機 乾太くん 取り付けマニュアル

Rinnai

CONTENTS

CONTENTS	1
----------	---

設置工事の流れ

専用台(高)を使用した設置イメージ	2
-------------------	---

I 本体設置

1. 乾燥機本体の設置場所の選定	3
2. 乾燥機本体の離隔距離	4
3. 換気口・給気口について	4
4. 乾燥機の設置方式の選定 (1)ユニット台設置	5
(2)棚板設置	6

II 排湿管工事

1. 排湿管セットを使用する場合 (屋外に面した壁に穴をあけて排湿する設置)	7
2. KP パイプを使用する場合 (天井裏等、隠蔽部に排湿管を設置する場合)	8
KP パイプによる排湿管工事	9
3. 排湿ホースを使用する場合(壁に穴をあけない設置)	10

III 周辺工事

1. ガスの接続について	11
2. ガス栓の設置	11
3. 電源コンセント、アース工事	12
4. 試運転	12

IV 設置相関図

① 8kg タイプ	13
② 5kg デラックスタイプ	13
③ 5kg スタンダードタイプ	14
④ 3kg タイプ	14



本製品の廃棄処分について(家庭用衣類乾燥機を取替時)

本製品は特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の対象品となっております。引取りにはリサイクル料金と収集・運搬料金(指定引取り場所まで)を支払う必要があります。本製品のリサイクル料金は1台当たり税別¥2,300となっており、全国同一の料金です。(2019年3月現在)リサイクル料金は、所有者の負担になります。

収集・運搬料金(指定引取り場所まで)は別途となり業者毎に異なりますので、販売店様へご相談ください。

設置工事の流れ

専用台(高)を使用した設置イメージ



1 設置スペースの確認

P4 2. 参照



2 ガス栓、電気コンセント、アース工事

P11 2. P12 3. 参照



3 排湿管工事

P6～P10 参照



4 専用台の設置

P5 参照



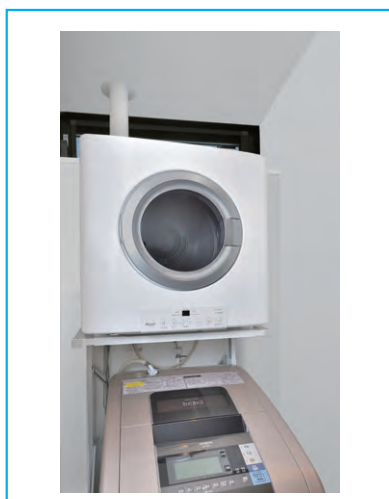
5 衣類乾燥機を設置

工事説明書を参照ください



6 ガス・電源・アースを接続

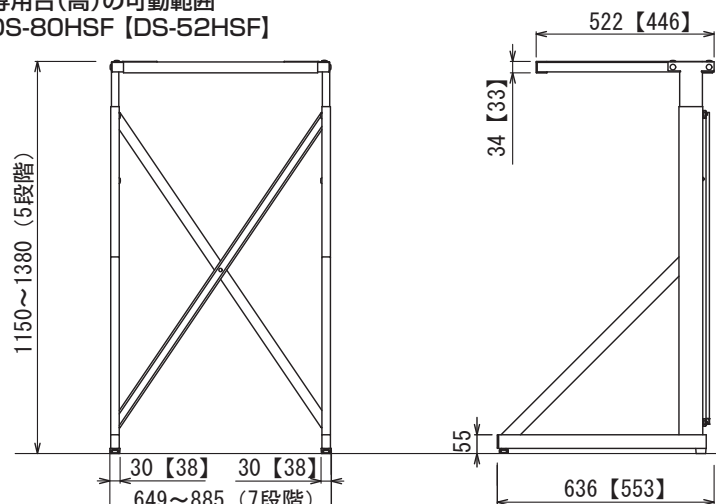
P11、P12 3. 参照



7 試運転調整

P12 参照

■専用台(高)の可動範囲 DS-80HSF【DS-52HSF】



洗濯機用防水パン設置時にP5スライド調整寸法と合せて確認してください。

I 本体設置

1. 乾燥機本体の設置場所の選定

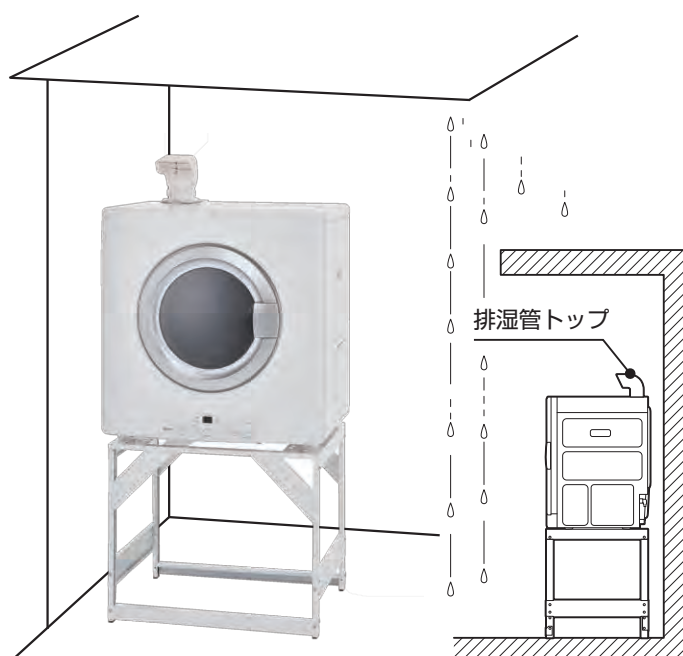
室内



洗面所・脱衣室等

浴室など高温・多湿の場所には設置しない。
漏電して感電・機器故障・火災の原因になります。

屋外

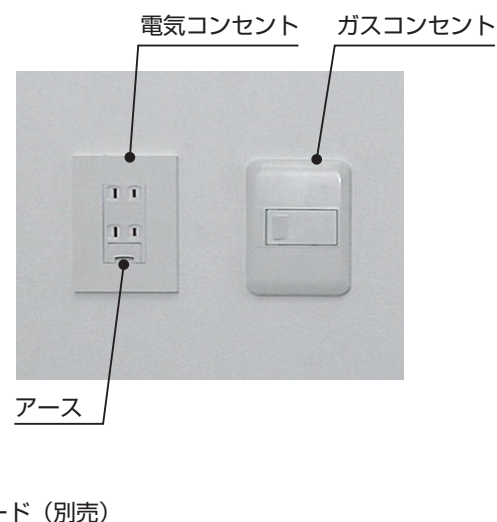
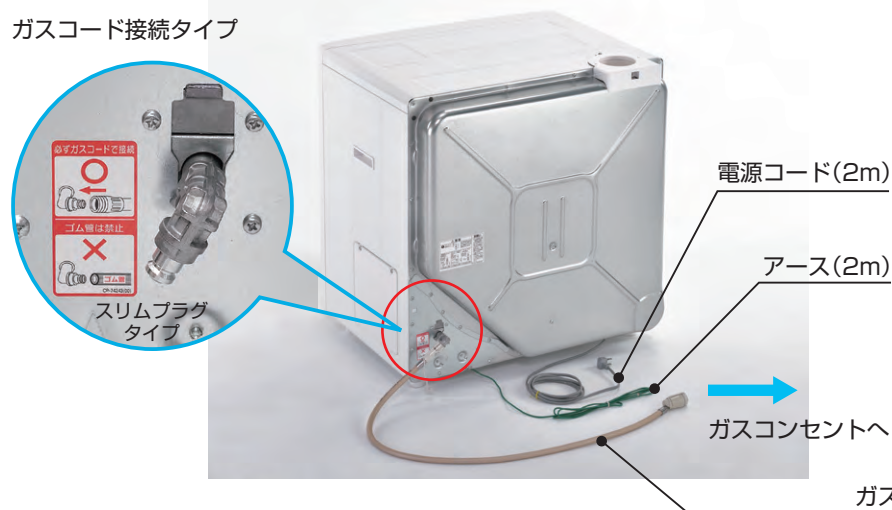


ひさしのあるベランダ等

屋外で使用する場合は、機器上方に必ずひさしや軒がある雨がかけられない場所に設置し、別売の排湿トップ(DT-30NF)を取り付けます。
本体保護カバーの使用をお勧めします。

ガス・電源・アースの確認

ガスコード接続タイプ



ねじ接続タイプもあります

ガス接続口
(R1/2 または R3/8 ねじ接続)



ねじ接続タイプ

出荷時はR3/8ねじ
R1/2で使用する場合は、同梱のR1/2接続アダプターを使用してください。(シール剤必要)

LP ガスの場合	都市ガスの場合
燃焼器用ホース(別売)	強化ガスホース(別売)

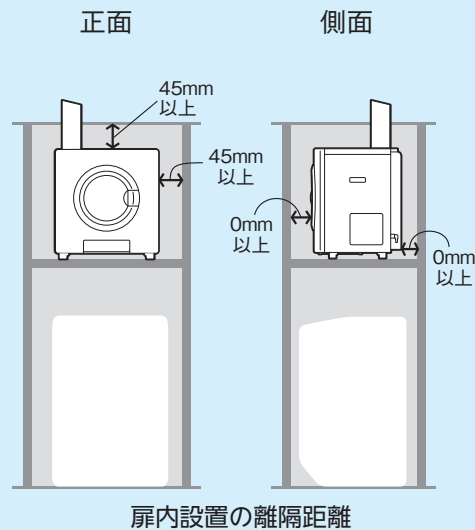
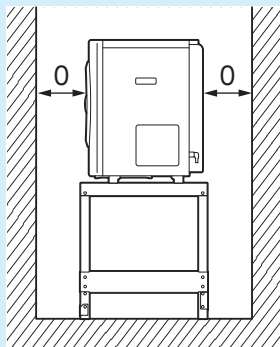
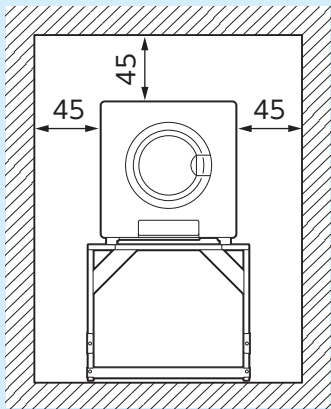


可とう管ガス栓

2. 乾燥機本体の離隔距離

防火および性能確保のため以下の離隔距離を確保してください。

■防火上必要な離隔距離(mm以上)



■メンテナンス上、必要な離隔距離

上 方	300
側 方	100(250)※1
後 方	45
前 方	500(600)※2

注：メンテ寸法、上方300、側方100(250)※1、後方45、前方500(600)※2がとれない場合は本体を取り外してメンテをおこないます。

※1 フィルター面 ※2 RDT-52シリーズ

3. 換気口・給気口について

換気口について

- ・ 設置場所に窓がある場合は、窓を開けるなどして空気の入替えをしてください。
- ・ 24 時間換気システムの場合は、運転を「入」にして使用してください。

(参考) 自然換気の場合 換気口面積 1kw あたり 34.4cm²

給気口について

- ・ 給気口面積は排湿管の断面積以上としてください。

KP 管を使用した場合の給気面積参考値

排湿管の径	給気口面積 (排湿管の断面積)
φ80	50.2cm ²
φ100	78.5cm ²

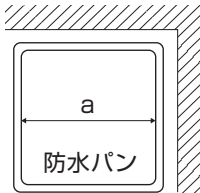
24 時間換気の給気面積の総和が上記より上まわっていれば給気口設置の必要はありません。

4. 乾燥機の設置方式の選定

(1) ユニット台設置

洗濯機の上に設置する場合、専用台(高)を使用します。低い位置での設置は、専用台(中)・(低)を使用します。
洗濯機用防水パンの内側に設置する場合、専用台幅(下記表参照)以上の防水パン内寸が必要で
防水パンの外側に設置する場合、専用台の脚幅38mm※を確保して下記、幅(内寸法)の確認が必要です。
買い替え時は専用台も取り替えてください。

※DS-80HSF、80MSFは30mm以上



専用台(低)

DS-52LSF



※高さ、幅等、大きさの
調節はできません。

専用台(中)

DS-80MSF



注)

専用台(高)

DS-52HSF



553

DS-80HSF



注)

注) 既設取替時には奥行寸法が異なりますので巻末の設置相関図で確認してください。

スライド調節寸法

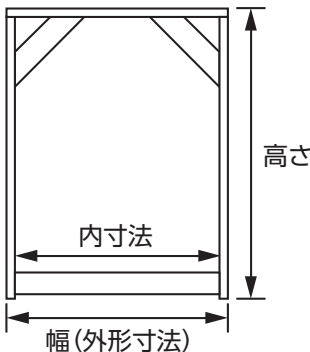
DS-80MSF

幅(mm)	
スライド柱刻印	外形寸法(内寸法)
無し(固定)	649(589)

高さ(mm)	
支柱刻印	寸法
1	720
2	780
3	840
4	900
5	950

DS-52LSF

高さ	517
幅	612



DS-52HSF

幅(mm)	
スライド柱刻印	外形寸法(内寸法)
1	664(588)
2	701(625)
3	737(661)
4	783(707)
5	828(752)
6	865(789)
7	901(825)

高さ(mm)	
支柱刻印	寸法
1	1150
2	1210
3	1270
4	1330
5	1380

DS-80HSF

幅(mm)	
スライド柱刻印	外形寸法(内寸法)
無し	649(589)
2	686(626)
3	722(662)
4	767(707)
5	812(752)
6	849(789)
7	885(825)

高さ(mm)	
支柱刻印	寸法
1	1150
2	1210
3	1270
4	1330
5	1380

- 対応型式
- RDT-80シリーズ
 - RDT-54Sシリーズ
 - RDT-52SAシリーズ
 - RDT-31Sシリーズ

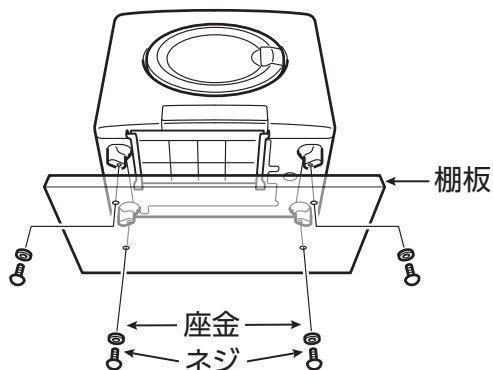
注) 洗濯機の一部機種では設置
できない場合があります。
蓋を開けた時の高さ寸法、
防水パンの高さを確認のう
え設置してください。

(2) 棚板設置

造作の棚等に本体を設置する場合は、以下の注意点を確認してください。

- ・耐荷重60kg以上
- ・棚板は本体寸法より大きくしてください。
- ・落下しないよう安全に配慮し水平に設置してください。

棚板に下部より固定する場合



M5×(棚板厚+(25~35mm))のネジが必要です*
※5kgデラックスタイプはM5×(棚板厚+(5~12mm))

固定穴ピッチは、P13、P14の設置相關図を参照ください。



棚板設置イメージ

単位:mm

Ⅱ 排湿管工事 (排湿筒工事)

1. 排湿管セットを使用する場合 (P7)

露出配管での排湿管カバー装着例



2. KPパイプを使用する場合 (P8・9)

気密性の高い新築住宅に設置する場合に推奨します。



3. 排湿ホースを使用する場合 (P10)

1. 排湿管セットを使用する場合(屋外に面した壁に穴をあけて排湿する設置)

DPS-75アルミフレキ

排湿管カバー
DPC-80

排湿管カバーエルボ
DPCL-80

立上り必要
距離
270mm以上
(200mm)※

露出配管の場合

40mm↑ メガネリング
MR-80

壁穴径φ90～φ95

排湿管セット
DPS-75



DG-80A



DG-AK

(外気逆止弁付) — 未使用時に外気(冷氣)が流入することを防止する場合に使用

アルミフレキは最大2mあり、クラフトはさみ等で容易に切断できます。フレキシブルで取り回しもよく接続も簡単です。

※()内寸法はアルミフレキを排湿筒ガイドDG-80-1(φ80)、DG-100-1(φ100)に直接接続した寸法です。

DPS-100アルミフレキ

排湿管カバー
DPC-100

排湿管カバーエルボ
DPCL-100

立上り必要
距離
310mm以上
(260mm)※

露出配管の場合

50mm↑ メガネリング
MR-100

壁穴径φ110～φ115

排湿管セット
DPS-100



DG-100A



DG-AK(外気逆止弁付)

注意点

- ・延長は2m 2曲りまで
- ・アルミフレキの継ぎ足し延長はできません。
- ・アルミフレキの固定はできません。
- ・隠蔽配管はできません。
- ・排湿管は単独の配管としてください。

2. KPパイプを使用する場合(天井裏等、隠蔽部に排湿管を設置する場合)

φ80KPパイプ

壁穴径φ90～φ95mm

メガネリング
MR-80

排湿管カバー
DPC-80

露出部

天井配管
(点検口必要)

最大延長

8kgタイプ
5kgタイプ

3kgタイプ

8m 2曲り

5m 2曲り

最大立上げ

8m

5m



DG-80A



または

DG-AK

(外気逆止弁付)―未使用時に外気(冷氣)が流入することを防止する場合に使用

φ100KPパイプ

壁穴径φ110～φ115mm

メガネリング
MR-100

排湿管カバー
DPC-100

露出部

天井配管

(点検口必要)

最大延長

8kgタイプ
5kgタイプ

3kgタイプ

10m 4曲り

10m 4曲り

最大立上げ

10m

10m



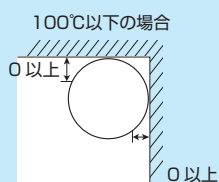
DG-100A



または

DG-AK(外気逆止弁付)

「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」との離隔距離



- ・ 隠ぺい配管となる場合は点検口を設けてください。
- ・ 排気温度100℃以下のため隠ぺい部での断熱施工は不要です。
- ・ 必要に応じて結露対策として断熱施工してください。

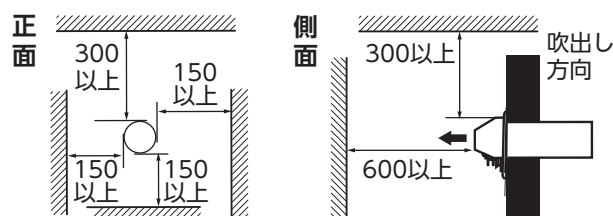
KPパイプによる排湿管工事

●KPパイプは途中で切断せず、寸法調節にはスライド管を使用してください。

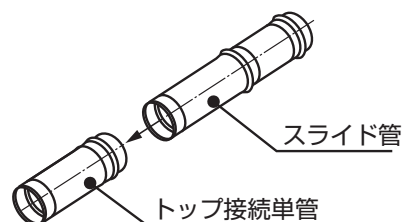
●排湿管の固定は、直管部については1.5～2m 間隔で固定金具を取り付け支持します。曲り部や短管を使用した箇所については、たるみが生じないように適宜細かく支持します。

パイプフードの取り付け

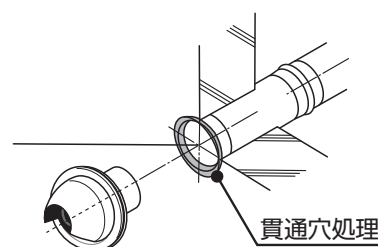
- パイプフードの開口部と周囲の離隔距離は右図を確保します。
単位：mm



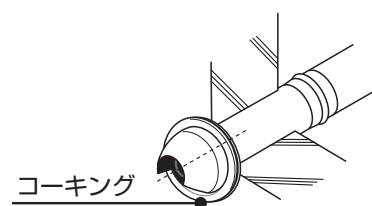
- a 壁面に穴明けを行います。(DF-80)φ90～φ95、(DF-100)φ110～φ115
- b トップ接続単管にスライド管又は直管を差し込み、室内側の排湿管を取付けます。
注：トップ接続単管には、後で壁面仕上がり調整を行う場合があるのでスライド管で長さを調節します。



- c 貫通穴処理をしてパイプフードを壁面に固定します。



- d 室外よりトップフランジ部の全周およびビス部にコーキングを行います。



防火ダンパーについて

●アルミ製排湿管で、設置の場合は取付可

注) 防火ダンパー作動温度の確認必要

●ステンレス製の排湿管 (KPパイプ) を使用して設置の場合は、排気筒扱いとなり
取付は不可

ガス機器の設置基準及び実務指針による

現地所轄の消防で認可されている事例もありますので、取付に関しては現地所轄の消防にご相談ください。

3. 排湿ホースを使用する場合(壁に穴をあけない設置)



排湿ホース DH-85



窓パネルセット
DW-52(既築用)
(内窓開時のファスナーロック同梱)

排湿ホースは1本で使用し延長は不可。
窓から出す場合、先端は下向きにしてGLより30cm以上離す。
途中の曲げは、2箇所以内。
排湿ホースの中に結露し水滴が落ちる場合があるので着脱の際に注意が必要。

排湿ホースDH-85



窓枠内寸
600mm～
1,000mm

窓パネルセット DW-52

露出配管対応

排湿ホースは最大1.5mで、乾燥機使用の際、窓から出すか、窓パネルセットの排湿筒パネルに接続して、使用します。壁に穴をあける必要はありません。

Ⅲ 周辺工事

1. ガスの接続について

液化石油ガス

	機器側	接続具	ガス栓側
移動設置形ガス機器	スリムプラグ	小口径迅速継手付強化ガスホース (ガスコード)	コンセントガス栓
常設形ガス機器	ねじ接続	燃焼器用ホース	可とう管ガス栓

都市ガス

	機器側	接続具	ガス栓
移動設置形ガス機器	スリムプラグ	小口径迅速継手付強化ガスホース (ガスコード)	コンセントガス栓
常設形ガス機器	ねじ接続	強化ガスホース	可とう管ガス栓

- ・衣類乾燥機は、一般的には移動設置形ガス機器ですが、排湿管を固定して使用する場合は常設形ガス機器として扱います。

2. ガス栓の設置

ガス衣類乾燥機の設置には、設置場所にガス栓が必要です。

設置形態に応じた位置にガス栓を設けてください。

例：専用台（高）を使用して、洗濯機の上に設置する場合のガス栓位置は、洗濯機用水栓、洗濯機用電源コンセント（H=1,100mm 程度）に高さを合わせて専用台の柱や洗濯機の開閉に支障のない位置に設置してください。

■ 設置場所付近にガス栓がない場合

衣類乾燥機本体の付近にガス栓が必要です。
フレキ配管等によるガス栓増設をおこなってください。

ガス栓の種類

● ガスコード接続タイプを取り付ける場合

■ 壁 埋込型
ガスコンセント
(丸穴施工タイプ)



■ 壁 埋込型
ガスコンセント
(C タイプ)



■ 壁 ケース型
ガスコンセント
(上接続・背面
接続兼用)



● ねじ接続タイプを取り付ける場合

■ 可とう管ガス栓
I タイプ



L タイプ



3. 電源コンセント、アース工事



乾燥機本体に付属の電源コード(2m)の届く範囲に電源コンセントが必要です。また、洗濯機の傍等、水を使う場所に設置するため必ずアース工事をおこなってください。(電源コンセントのアース端子にアース線をつなぎます)※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています)

4. 試運転

- 設置工事後の点検完了後、試運転を行います。
詳しくは機器に同梱の工事説明書に従っておこなってください。



例:RDT-54S

- 1) 電源入/切スイッチを押す。
 - ・標準ランプと  が点灯。
- 2) スタート/一時停止スイッチを押す。
 - ・運転/燃焼ランプが緑色に点灯。
 - ・運転/燃焼ランプが緑色から赤色に変わって着火したことを知らせる。

お願い ■ガス接続工事後、ガス管内に空気が入っていると点火しにくく、異常報知(デジタル表示部に  が点滅)することがあります。この場合は前扉を開けた状態で電源入/切スイッチを“ピー”となるまで押し、機器を停止させてください。前扉を閉め、再び、電源入/切スイッチを押して電源を入れてから、スタート/一時停止スイッチを押して点火してください。( が点滅した場合はそのまま冷却運転(2分間)終了後に操作してください。)

- 3) 前扉を開けて、電源入/切スイッチを“ピー”となるまで押す。
 - ・運転/燃焼ランプが消え、機器が停止。

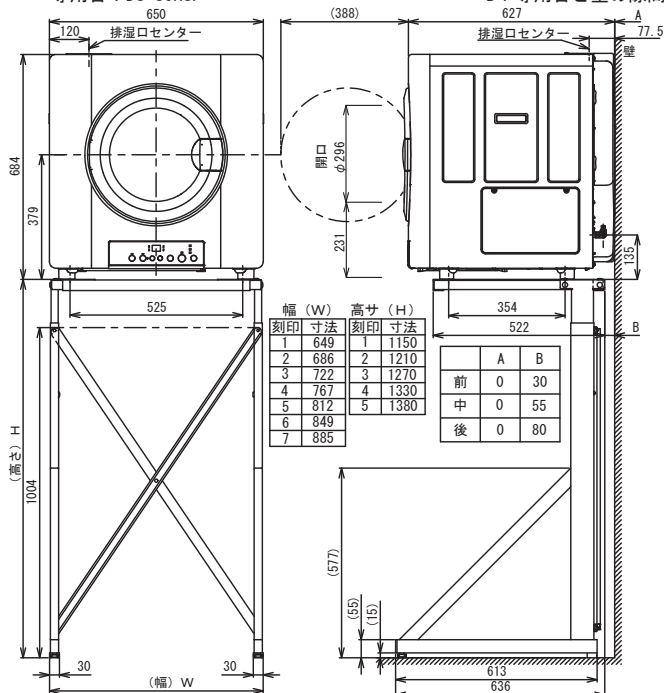
IV 設置関連図

①

8kgタイプ

製品：RDT-80
専用台：DS-80HSF

A：製品と壁の隙間
B：専用台と壁の隙間

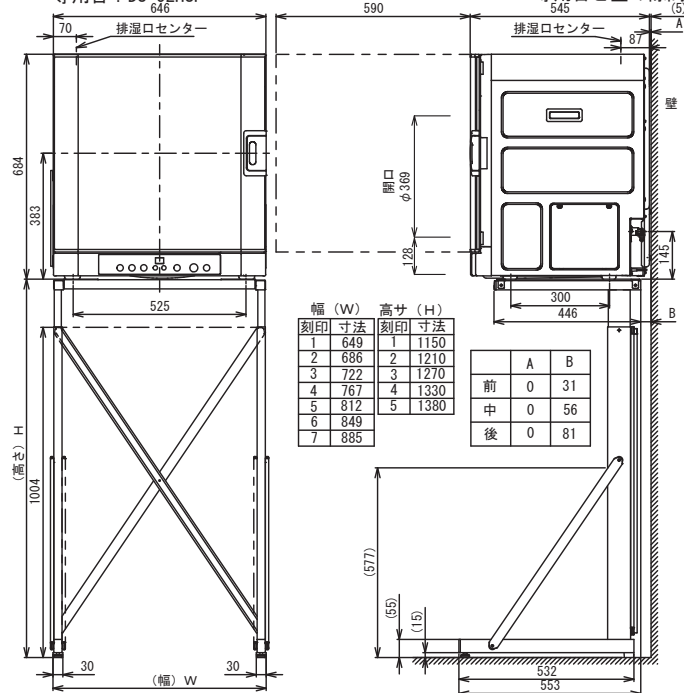


②

5kgデラックスタイプ

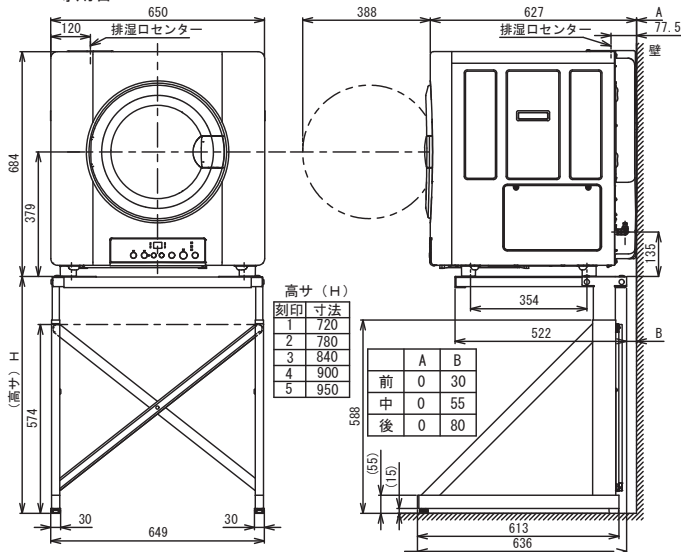
製品：RDT-52SA
専用台：DS-52HSF

A：製品と壁の隙間
B：専用台と壁の隙間



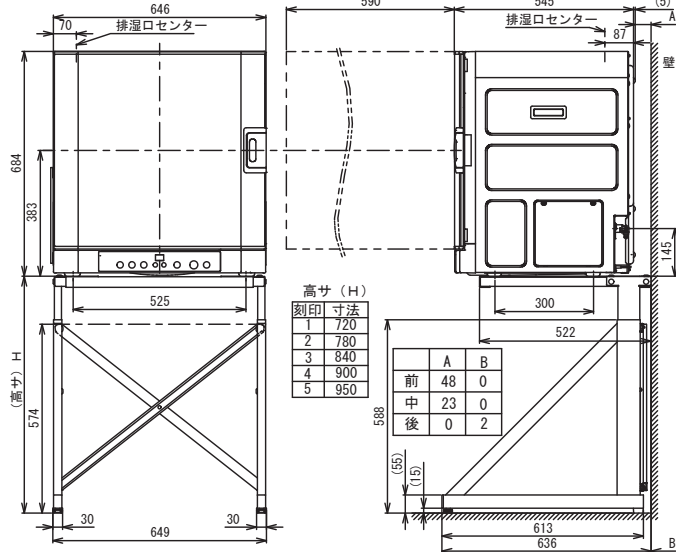
製品：RDT-80
専用台：DS-80MSF

A：製品と壁の隙間
B：専用台と壁の隙間



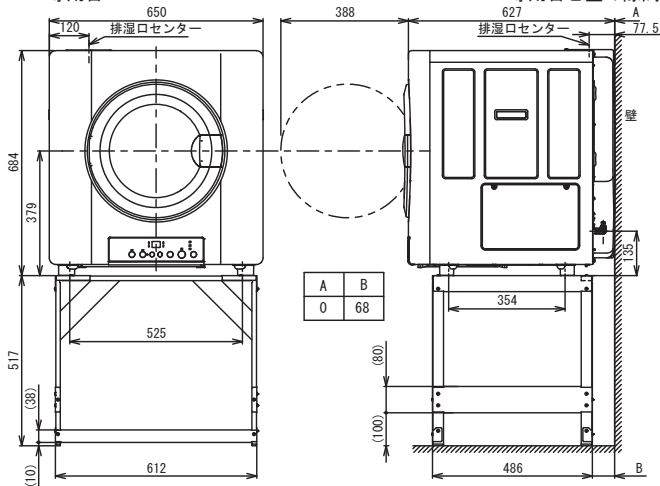
製品：RDT-52SA
専用台：DS-80MSF

A：製品と壁の隙間
B：専用台と壁の隙間



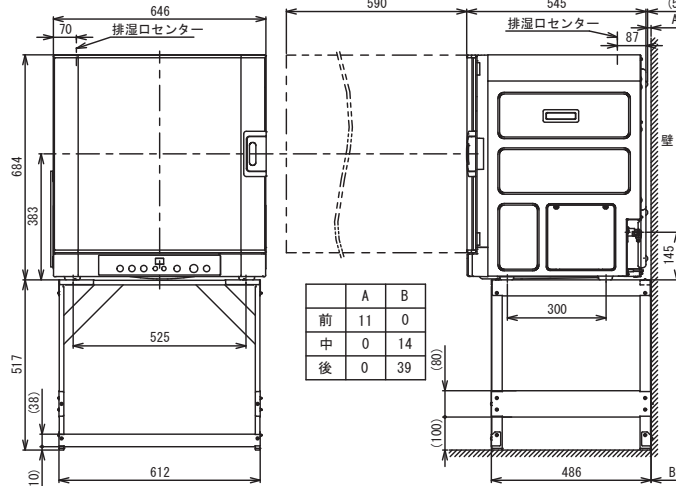
製品：RDT-80
専用台：DS-52LSF

A：製品と壁の隙間
B：専用台と壁の隙間



製品：RDT-52SA
専用台：DS-52LSF

A：製品と壁の隙間
B：専用台と壁の隙間



専用台(高)

専用台(中)

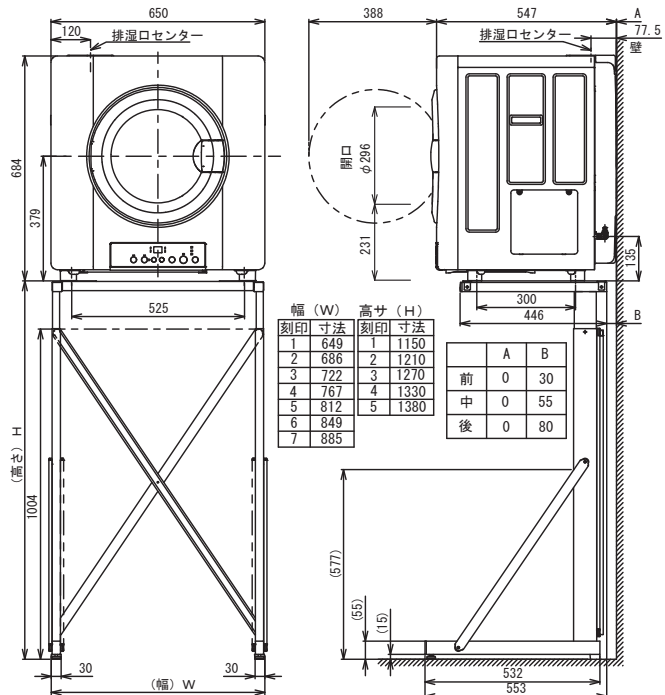
専用台(低)

専用台(高)

③ 5kgスタンダードタイプ

製品: RDT-54S
専用台: DS-52HSF

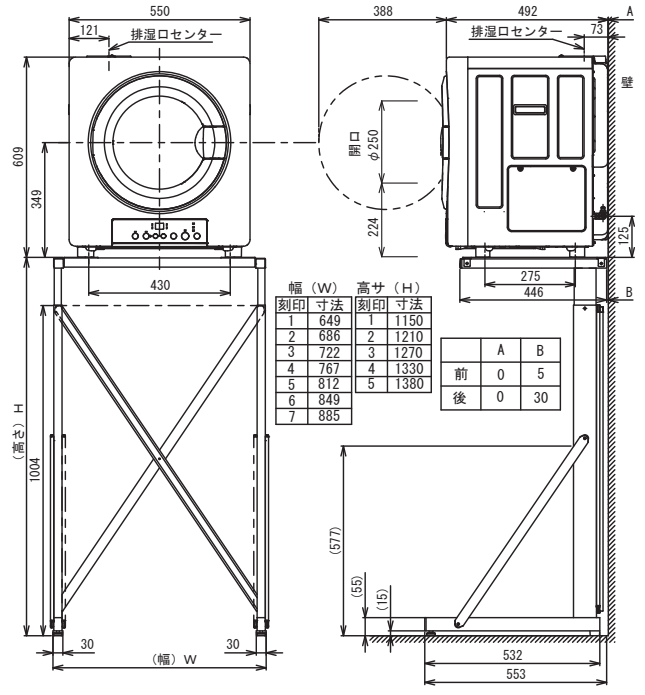
A: 製品と壁の隙間
B: 専用台と壁の隙間



④ 3kgタイプ

製品: RDT-31S
専用台: DS-52HSF

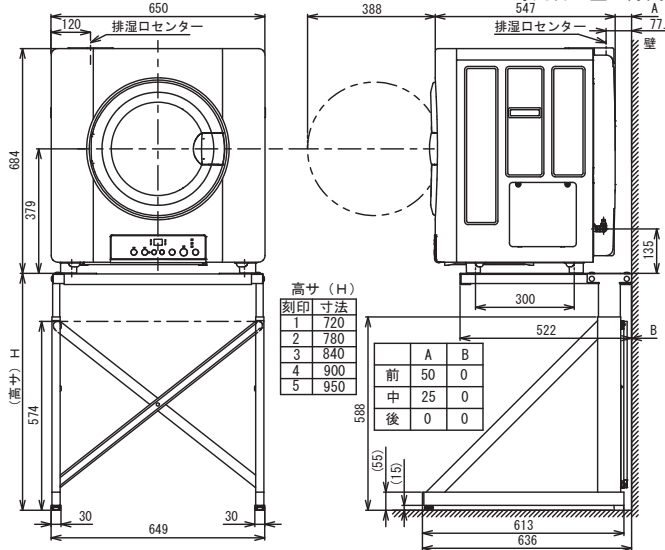
A: 製品と壁の隙間
B: 専用台と壁の隙間



専用台(中)

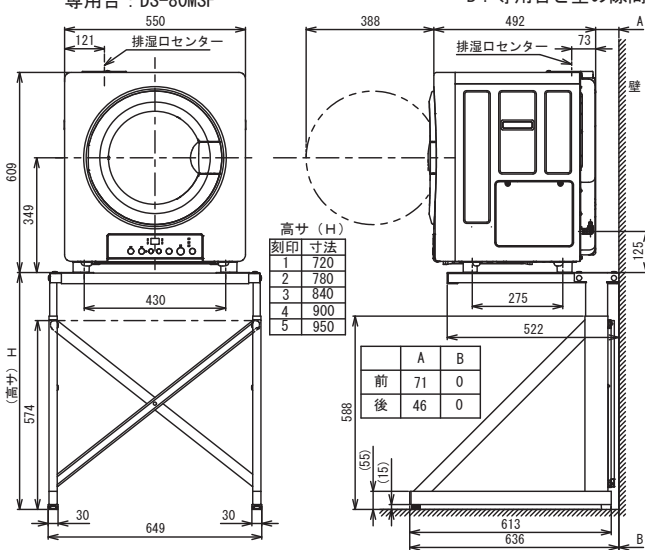
製品: RDT-54S
専用台: DS-80MSF

A: 製品と壁の隙間
B: 専用台と壁の隙間



製品: RDT-31S
専用台: DS-80MSF

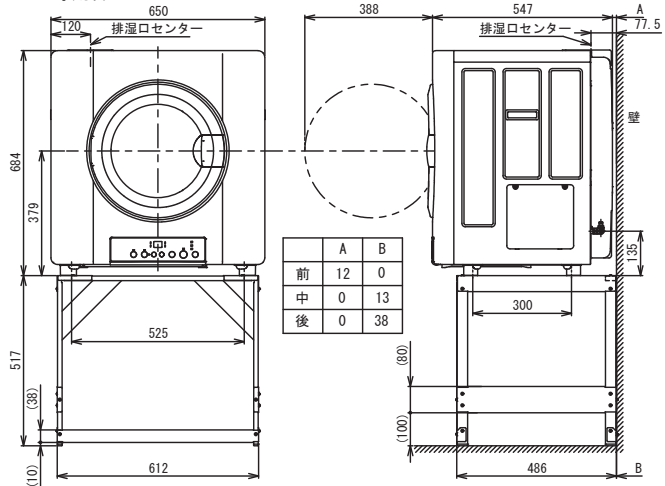
A: 製品と壁の隙間
B: 専用台と壁の隙間



専用台(低)

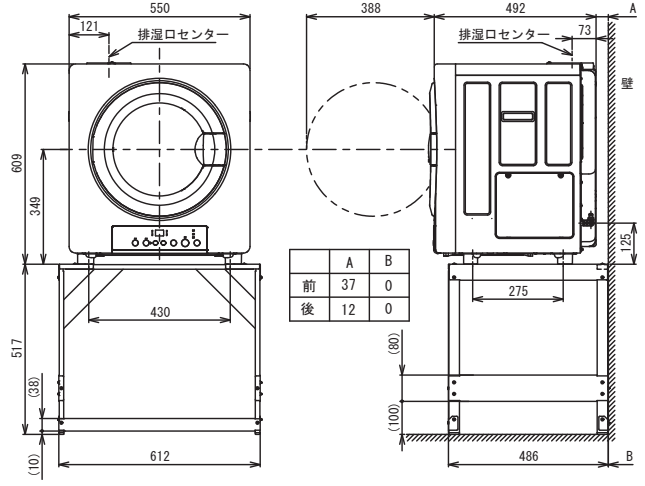
製品: RDT-54S
専用台: DS-52LSF

A: 製品と壁の隙間
B: 専用台と壁の隙間



製品: RDT-31S
専用台: DS-52LSF

A: 製品と壁の隙間
B: 専用台と壁の隙間



Rinnai